

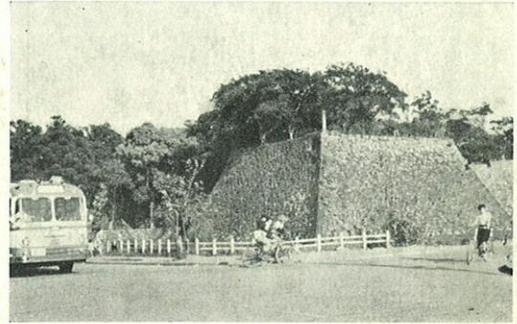
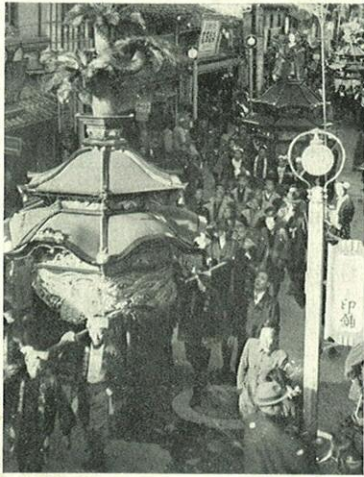
郷土文化めぐり

(その4) 八代市の巻

■八代神社の神幸行列
八代神社は約千百年程前の創建と伝えられ、平安末期から八代郡の一の宮として八代の領主たちに崇敬されてきた。又江戸末まで、見宮の名で全国に知られた。

十一月十八日はその祭礼日で、三百二十余年の伝統をもつ豪華な神幸行列は、古来九州三大祭りの随一と称され、昨年、熊本県の無形文化財に指定された。

神幸行列は寛永十二年細川忠興の再興で、みこし、装束、祭具を寄附し、神馬、飾馬十二頭、鉄砲、長柄などをお供させた。さらに松井氏の元祿年間から、獅子舞楽、笠鉾九基、亀蛇一頭、ヤッコが城下町と近から加わり現在に至っている。
(▲神幸行列)



(八代城址 石垣は大理石で築いてある。)

■八代城

今から三四〇年前の元和五年、城代加藤正方の縄張りで川口の海辺に築いた平城で、石垣には大理石を用いた。その後、一国一城制がしかれたが、南九州の押えのため、幕府が特に残させたもので、小城ながら五層の天守閣に、三層、二層、単層の櫓をそなえて見事であった。

十数カ町に五カ所の船着場と番所があり、城下町を主体とする江戸初期の築城様式が特徴である。今は本丸趾には八代宮があり、北の丸とともに城趾公園になっている。

(八代市企画広報室)

締切りは十月十日

ただいま自衛官募集中

防衛庁では次のとおり二等陸士、二等海士、二等空士の募集をしています。

△

採用人員 陸海空あわせて七千名の予定
資格 来年一月一日で満十八才以上二十五才未満の日本男子

試験

十月十六日から十一月六日までの間に、熊本市、大津町、阿蘇町、山鹿市、玉名市、松橋町、御船町、八代市、人吉市、水俣市、本渡市の十一地区で行う。

給与 二士で月六千八百円。その他の種々の手当が支給される。

手続 各市町村役場(出張所を含む)に志願票がある。これに記入の上、役場の係か又は自衛隊熊本地方連絡部(熊本市千葉城町電話②一一九四)に提出すること。

願書受付

△

九月一日から十月十日まで。

▼この回は、近年にない大募集にもかかわらず、高校在學生は今回の募集まで応募できないなどのため、現在までの応募

者は極く僅かで、一般応募者にとつては絶好のチャンスだと云われています。

▼自衛官の中には、夜間の高校や、大学に通っている人も多く、隊でもこの人達のために、色々便宜をはかっています。

引っぱりだこの

退職自衛官

退職した自衛官は、在隊中に特殊な技術を身につけているため各方面から引っぱりだこ。つい最近も、全国的に有名なスクーターの部品メーカーから「自衛官の満期除隊者をぜひうちの工場に」と県職業安定課に求人申込みがあり、二十三名の採用が決まったというので、自衛隊熊本地方連絡部も鼻高々という。

(地方課)

おわび

この八月号の発行が、種々の都合でおくれたことを深くお詫びいたします。なお九月号も近日中にお届けいたします。

(係)